

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)秦野市246計画 新築工事	階数	地上1F
建設地	秦野市平沢字久保頭530番1ほか9筆	構造	S造
用途地域	準工業地域・準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,000時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年5月6日
敷地面積	6,974 m <sup>2</sup>	作成者	榊シーク設計
建築面積	4,182 m <sup>2</sup>	確認日	2018年5月12日
延床面積	4,033 m <sup>2</sup>	確認者	榊シーク設計

外観バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記+②以外のオンサイト手法 73%  
④上記+オフサイト手法 73%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性 耐用性・信頼性 対応性・更新性

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境 まちなみ・景観 地域性・アメニティ

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0

建物外皮の熱負荷 自然エネルギー 設備システム効率化率的運用

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

水資源保護 非再生材料の使用削減 汚染物質回避

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
省エネルギーや建物の使いやすさに重点をおいた計画とする。		
<b>Q1 室内環境</b> 室内換気に対応した計画とする。	<b>Q2 サービス性能</b> 店舗利用者の使い易さに配慮した計画とする。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を配し、地域と一体化を図る計画とする。
<b>LR1 エネルギー</b> 熱負荷制御に配慮した計画とする。 BPI <sub>lm</sub> =0.93	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材や有害物質を含まない材料を採用する計画とする。	<b>LR3 敷地外環境</b> 交通負荷の抑制に配慮した駐車場の計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される